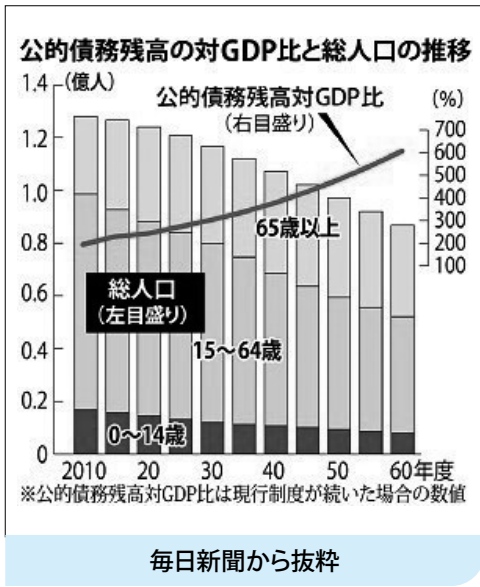


農業予算の転用は？



加藤 紀之 議員

町長 国の施策である



【加藤】財政制度等審議会が、国と地方の債務残高の合計が、2060年には8000兆円になるとの試算を示した。

審議会は、このままでは将来世代に重い負担を背負わせることになり、国や自治体は歳出の大胆な見直しや、増収策に取り組む必要があるとしている。

このことから、交付税も相当な減少が予想されるが、町長はどう対応するか。

【町長】引き続き行財政改革を進めるが、基

金の活用も考える必要に迫られる。

【加藤】専門家は、成長戦略と歳出カット、さらに増税が不可欠だとしている。

本町の成長産業をどう考えているか。

【町長】農林水産業、観光業が柱である。

【加藤】今のままでは、成長産業になるとは思えない農業の予算を、若者定住が期待できる企業誘致にかけられるべきではないか。

【町長】農業政策は国の施策である。



野口 昌作 議員

町道のへこみは誰が直すか？

町長 設置者の責任である



へこんだ町道

【野口】畑地かんがい用水のボックスが低く設置してあり、トラックが大きくバウンドし、非常に不快である。町と畑かんの占有者との道路修理の関係は、また、殿河内南側のへこみの修理は。

【町長】道路占用許可条件で、2年間の瑕疵責任と、さらに復旧方法に瑕疵がある場合は、5年間の保証措置を付している。

殿河内は早急に対応する。

【野口】占用工事完成時にどのように検査しているか。

【町長】車両の通行に支障がないよう確認している。

【野口】町民が快適な生活をするため、道路行政についてどのような考えをもっているか。

【町長】誰もが安全で安心して利用できる道造りだと考えている。